

第10回
岡大サイエンスカフェ

絵図をよむ楽しみ

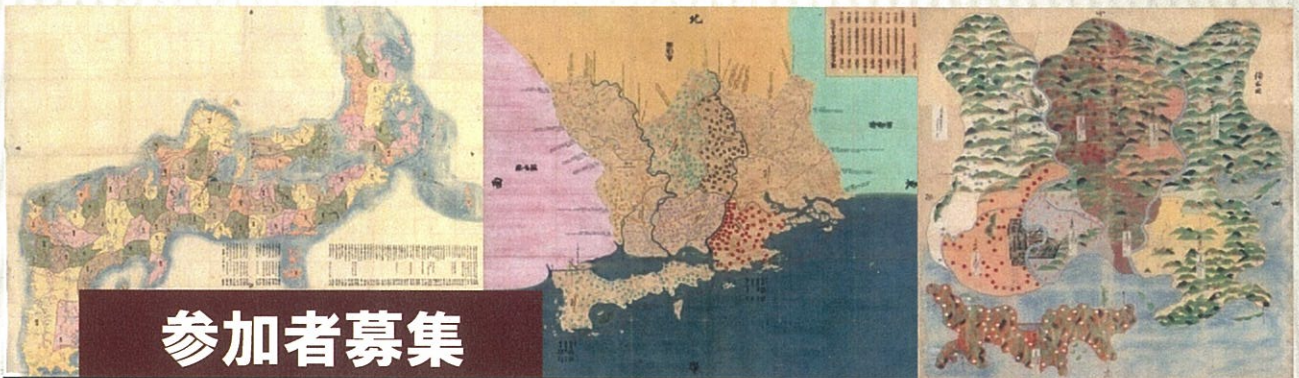
— 池田家文庫絵図をとりあげて —

講師：岡山大学大学院社会文化科学研究科(文学部) 教授 倉地 克直

わたしたちが、ふだん何気なく使っている地図。その地図にも長い歴史があり、そのあり方も時代によって大きく変化してきた。地図の歴史のなかでも、日本の江戸時代は独特の位置を占めている。手書きのものから印刷されたものまで、じつに多種多様な地図が作られたからである。そして、そのひとつひとつに当時の社会の特徴が刻み込まれている。

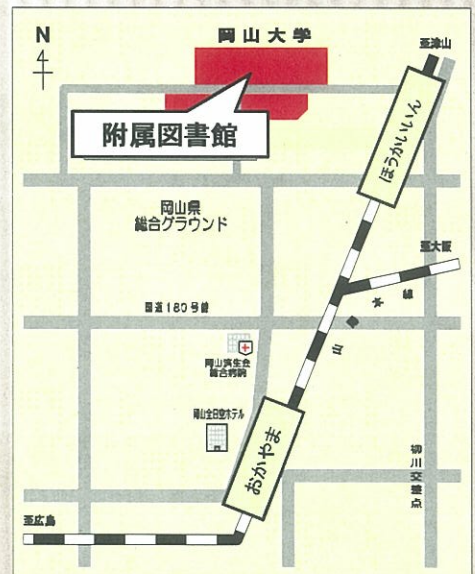
江戸時代までの古地図は、絵図と呼ばれることが多い。絵画的な表現に特徴があるからである。江戸時代の代表的な絵図が、国絵図である。備前国や美作国といった律令制以来の国を単位とした絵図で、徳川幕府が各地の大名に作成を命じたものである。幕府に提出された国絵図に基づいて、日本図も作られた。

岡山大学附属図書館が所蔵する池田家文庫には、約3000点の絵図が含まれている。なかでも国絵図と日本図には、他所に見られない貴重なものがある。それらを読み解くことで、どんな江戸時代像がみえてくるか。楽しみながら、絵図をみてみよう。



参加者募集

- ◆開催日時
平成21年1月22日(木)
午後6:00～7:30
- ◆開催場所
岡山大学附属図書館5階
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構
社会連携本部
FAX: 086-251-8467
E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp
氏名・年齢・連絡先・電話番号は必ず明記してください
- ◆締め切り
平成21年1月16日(金) 午後5時
- ◆参加費 無料(飲みもの含む)
- ◆問い合わせ先
社会連携本部 松浦 Tel:086-251-7112



本催しはJSTイノベーションブランチ岡山の協賛を受けております

社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも
(岡山大学の教職員・学生は対象外)